

埼玉県鶴ヶ島市（視察日：令和元年10月24日）

議会報告会の取り組みについて

1 鶴ヶ島市の概要

人口約69,900人で、埼玉県のほぼ中央に位置しています。都心から約45km県内であり、市内には関越自動車道と首都圏中央連絡自動車道が走り、それぞれのインターチェンジは市の中心を横断する国道407号線と結ばれ、交通の拠点になっています。

2 視察目的

鶴ヶ島市議会では、市民の期待に応えられる「もっと身近な議会、もっと確かな議会」を目指す議会改革の一環として、平成20年度から議会報告会を開催しています。その取り組みについて学びました。

3 視察内容

平成20年に県内初の議会報告会を開催し、それ以降毎年実施。本年9月で13回の開催となりました。

(1) 議会報告会の内容の推移

- ・報告会1回目から3回目：定例会に提出された主な議案の審議結果の報告を主に、市議会に対する提案及び質問を受ける内容です。
- ・平成23年第4回目より議案の審査結果の報告に加え、テーマを決めタウンミーティングを実施。
- ・平成28年9回目より議案の審査結果の報告を取りやめ、テーマを選定しない「市民と議員の懇談会」とし、タウンミーティングを実施。これは、市民が報告事項より自分の意見や要望など言いたいことを言うことを望んでいる方が多いためでした。それに代わり、今回より議会について知ってもらう説明を最初に入れていました。
- ・平成30年11回目よりテーマ選定しない懇談会を変更し、いくつかのテーマを決めて実施。
- ・令和元年13回目の議会報告会では、テーマに関し、予め富士見地区地域支え合い協議会、西入間青年会議所及び鶴ヶ島中学校生徒会の3団体に事前にインタビューを行いました。

(2) 班編成について

最初は地元議員を外していましたが、後に参加するようにし結集に頑張ってもらおうようにしています。

(3) 要望・質問への回答について

その場で回答できるものは回答し、それ以外は参考として聞くスタイルとしています。必要に応じてホームページ上の議会報告会の報告に回答事項を掲載しています。

(4) いただいた要望・意見の活用について

重要と思われる事項については、市長への提言や一般質問、常任委員会での質疑につなげるようにしています。例えば平成30年9月に行った「鶴ヶ島市PTA連合会と議員の懇談会」などの中で明らかになった課題を議会内で協議し、重要と思われる事項について、市長に対し、政策提言を行っています。

(5) アンケートについて

書き込む時間をきちんと設定し、閉会の前に5分程度必ず時間を取っています。

4 所 感

平成20年に初めて開催してから本年度で13回目の開催を終え、その間試行錯誤しながら様々な議会報告会のスタイルを試みてきています。鶴ヶ島市議会が歩んだ議会報告会の過程の中で、これから実施しようとする私たちが学ぶべき点は多くありました。

1つには、報告会の9回目からは大きな内容転換をし、今まで内容に組み込んでいた議会での議案に対する審議結果などの報告を外しました。さらに、市民と議員との懇談に力を入れた内容としています。これは、市民が議案に対する審議結果をあまり求めていないことがわかったことによります。説明の中でもありましたが、「市民の話しを聞く」ことに重点を置き、市民の声や要望を聴くとともに市民との意見の交換をしっかりと行うこととしました。議案に対する審議結果などの報告については、私たちが議会報告会を開催するうえで、どのようにしていくか、きちんと検討していかなければなりません。

2点目に、要望や提案の取り扱いです。鶴ヶ島議会では、議会報告会や意見交換会の中でいただいた要望や提案などは参考にするというスタイルですが、特に重要と思われる事項に関しては議会内で議論し、市長へ政策提言していることです。懇談や意見交換を実施すれば、必ず要望や提案が出ます。その要望や提案などをどのように回答するのか、活用するのは当小千谷市議会でも今後十分な検討が必要です。

3点目には、相手を絞ってテーマを決めて事前打ち合わせをしっかりと行い、懇談会や意見交換会を実施する場合のほうが議会としての政策につながる場合が多いとのアドバイスをいただきました。私たちが実施する場合において、参考になります。

4点目に、閉会の前に5分程度必ず時間を取ってアンケートを書き込んでもらうやり方は、重要と感じました。

5点目に、報告会等での議員側からの回答について、回答時間は例えば3分までと決めたほうがよいこと。また、市長や行政が悪いからだというような回答は良くないこと。など、大事なアドバイスをいただきました。

私たちの議会では、今後議会報告会や意見交換会を開催していくわけですが、今回の視察は、内容や進め方についてなど非常に参考となりました。しっかりと検討してまいります。

埼玉県富士見市（視察日：令和元年10月25日） 意見交換会の取り組みについて

1 富士見市の概要

富士見市は、埼玉県の南東部に位置し人口は約11万1千人であり、市名の由来は富士山が市内のいろいろな場所で見ることができることからきている。

今年度の一般会計予算規模は約348億2千万となっており、現在富士見市をPRするPR大使には、元プロ野球選手、ロンドンオリンピック金メダリスト、お笑い芸人、タレント、お天気キャスターの6名に委嘱し、昨年からはももいろクローバーZにも委嘱をおこなっている。

2 視察目的

平成23年に議会基本条例を制定、「年1回以上の議会報告会の開催」を規定しています。当市に於いても今年度より小千谷市議会基本条例が施行され、市民への議会報告会や意見交換会を設けることを規定しており、議会改革推進の観点より先進地として取り組み内容などを視察いたしました。

3 視察内容

決算報告とテーマを決めて意見交換する2部制で実施しておりましたが、検証作業を重ねた結果、「議会は、市政の課題に柔軟に対処するため、市政全般にわたって、議員及び意見を交換する機会を年1回以上設けるものとする」との文言を加え、条例の一部を改正し議会報告会から意見交換会に変更した経緯と現状の説明を受けた後、質疑応答を行いました。

4 所感

3つある常任委員会が出向いて意見交換会を開催している点や、県立高校の生徒会、子育て支援を担う母子保健推進委員、ゴミや空き家対策などを担う環境推進会議など団体を絞っている点は意見集約が容易に行えるように感じる。また身近な場所で日々感じている課題や疑問などをテーマにできる事の有意性も感じるところです。

出された意見や課題については次回に申し送り事項としたり、取りまとめられた意見は委員長から議長、そして市長へと報告される仕組みなど情報の伝達や共有、そして市民ニーズに的確に答えるには大変有益と考える。

いずれにせよ様々な取り組みも一方通行では意味を成さず、そして一過制でなく継続制の維持を重点に置き、常に言われるPDCAサイクルを意識しまた繰り返し、市民への行政サービスの向上と意見などのフィードバックに繋がりたいと感じました。